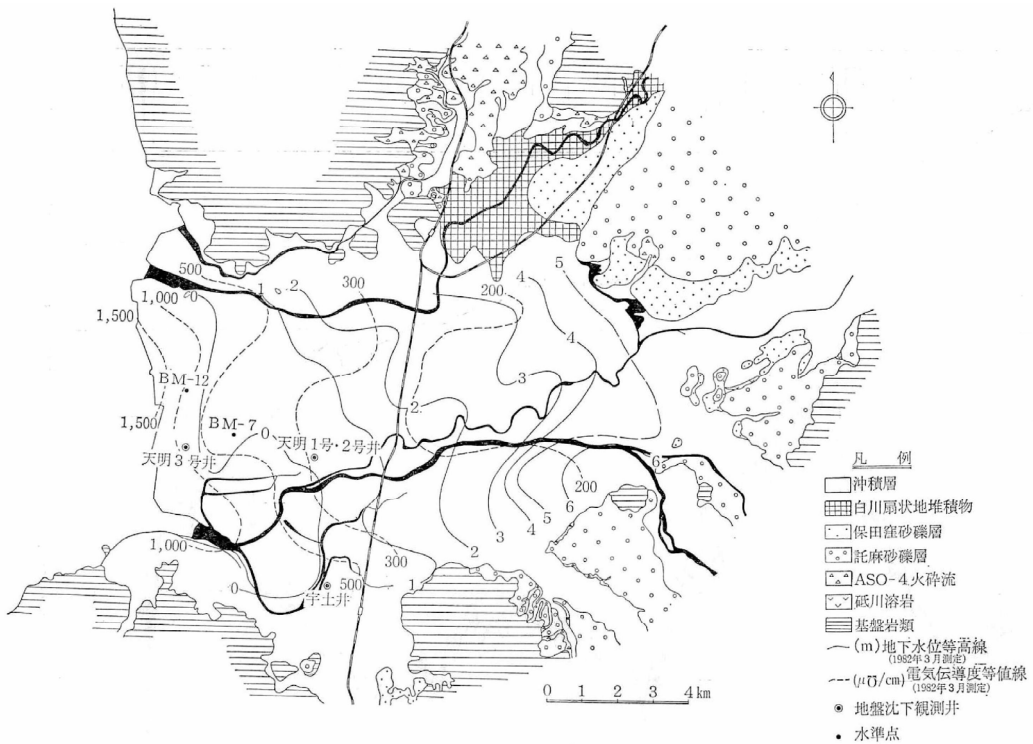


地形・地質

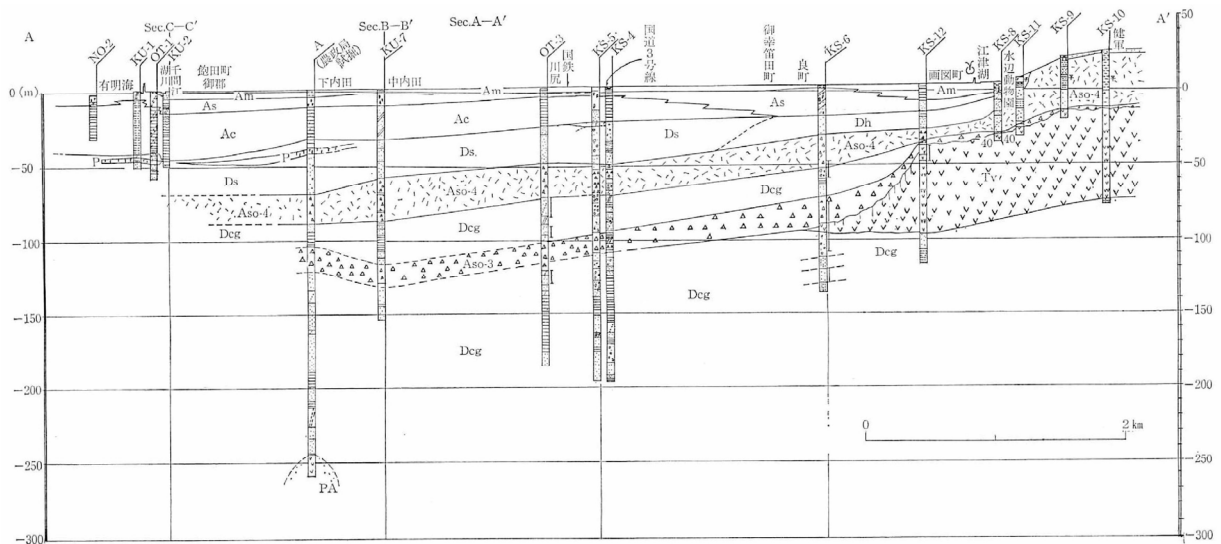
熊本平野は有明海に面した沖積低地で、白川や緑川の大河川が流入します。白川沿いには部分的に扇状地が発達し、その他の範囲は低平地です。地質は有明粘土層の発達が良好で、上部粘土層(Am)、中部砂礫層(As)、下部粘土層(Ac)に区分されます。



地下水位等高線図および電気伝導度等値線図

地下水

主に有明粘土層の中部砂礫層，未区分洪積層の上部層や下部層から取水されています。特に上部層と下部層は主要な帯水層となっており，下部層中の被圧地下水は自噴します。島原海湾層は塩水化の可能性があるため，ほとんど取水されていません。



ボーリング柱状図凡例

- ☒ 盛土・表土
- ☐ 粘土(粘性土)
- ☐ シルト
- ☐ 砂(砂質土)
- ☐ 砂礫
- ☐ 安山岩類(溶岩類)
- ☐ 凝灰岩
- ☐ 腐植土(腐植物まじり)
- ☐ 岩盤
- ☐ 凝灰角礫岩・集塊岩
- ☐ 粘土まじり(粘土質)
- ☐ シルトまじり(シルト質)
- ☐ 礫まじり
- ☐ 軽石まじり
- ☐ 凝灰質・火山灰質
- ☐ 変成岩類
- ☐ ローム
- ┆ ストレーナー位置

地層区分凡例

- | | | | | | |
|-----------------------|-------|-------|-------------------------|---|---------|
| 完
新
世 | } | Am | 上部粘土層 | } | (有明粘土層) |
| | | As | 中部砂～砂礫層 | | |
| Ac | 下部粘土層 | | | | |
| 第
四
紀 | } | Dh | 保田窪砂礫層相当層 | } | 更新世 |
| | | Hg | 保田窪砂礫層 | | |
| | | Tg | 託麻砂礫層 | | |
| | | Ds | 島原海湾層 | | |
| | | Aso-4 | 阿蘇4火砕流 | | |
| 第
四
紀
以
前 | } | Aso-3 | 阿蘇3火砕流 | } | 更新世以前 |
| | | Dcg | 未区分洪積層 | | |
| | | PA | 先阿蘇火山岩類、御船層群などの
基盤岩類 | | |

熊本平野の地質断面図（緑川沿い）

出典 日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

<http://www.jagh.jp/jp/g/activities/committee/research/gwdb.html>（日本地下水学会）